



生協ひろしま

# CSR Report 2012

2011年度の  
事業・社会・環境についての報告書



## ●生協ひろしまの基本理念

私たちは、協同の力で、より豊かなくらしの創造と平和な社会づくりに貢献します。

## ●行動規範

私たちは、基本理念を基に、生協ひろしまで働く職員のとるべき行動基準として、一つひとつの行動が組合員へどうお役立ちできるかということを常に考えて行動します。

私たちの誠実な行動をとることで組合員の満足度を高め、生協ひろしまが地域になくてはならない存在となるために、優れた商品と真のサービスを提供し続けます。

### 一、信頼づくり

私たちは、規律を順守し、徹底した商品管理と品質向上に努め、安全・安心を提供し続けます。

### 一、人とのつながり

私たちは、感謝の気持ちを大切にし、相手の立場にたった思いやりの気持ちを持ちます。

### 一、責任感

私たちは、現状に甘んじることのない強い信念を持ち、生協人としての責任と義務を果たします。

### 一、成長

私たちは、目標に向かって自分自身を磨く努力をし、自ら成長し続けます。

### 一、地域への貢献

私たちは、地域とのふれあいを大切にし、地域活動にも積極的に参加し、地域社会に貢献します。

## 目次

「CSR Report」の発行にあたって	01
「人的・物的」から「心をつなぐ」支援へ	02
地域と共に	04
地産地消・産直	06
子育て・食育	08
食の安全・安心	09
平和	10
事業	12
障がい者と共に	14
福祉ビジョン答申	15
声が響く組織に	15
環境	16
リサイクル	17
環境会計	17

## 生協ひろしまの概況

■生協名	生活協同組合ひろしま
■本部事務所	広島県廿日市市大野原1-2-10
■活動エリア	広島県全域
■設立	1971年5月
■理事長	林 辰也
■組合員数	38.6万世帯（前年比101.3%）
■出資金	133.2億円（前年比103.0%）
■事務所	支所17、店舗11、商品センター1、 訪問介護事業所8、居宅介護事業所7、 デイサービス事業所4、小規模多機能事務所1、 子会社 コープサービス(株)、 コープハウジング(株) (株)ハートコープひろしま (株)ハートランドひろしま
■職員数	正規634人 定時職員1,218人 福祉専門職151人 ヘルパー登録475人
■供給高	422.6億円（前年比98.9%） 共同購入他 329.2億円（前年比99.4%） 店舗 93.4億円（前年比97.2%）

（2012年3月現在）

## 「CSR Report」の発行にあたって

専務理事 横山 弘成



### 震災の影響と電力問題

未曾有の被害となった東日本大震災から、1年半。時間は経過したにも関わらず、復興は遅れており、原発の問題については解決の糸口すら見えない状況です。

生協ひろしまでは、「被災地支援の継続」を、2011年度方針に掲げ、可能な限り被災地の皆さまの支援を組合員と一緒にやってまいりました。支援の内容は、発災直後の人的・物的支援や緊急募金などの活動から、被災地の方の要望に応えた手芸用品の送付など、心の通いあいを感じられるような支援へとシフトしてきました。生協ひろしまでは、今後も息の長い支援活動を続けてまいります。

また、もうひとつの震災の大きな影響として、原発事故に端を発した電力不足の問題がありました。生協ひろしまも組合員に節電を呼びかけると同時に、各事業所でも、マニュアルに基き節電を徹底してまいりました。しかし、現在の取り組みはCO2削減の目標達成を目指した活動の範疇であり、まだまだ不十分です。あらためて福島第一原発の事故は、私たちの暮らしの中で「エネルギー」について、真剣に考えなければならないと気づかされた大きな出来事でした。

### 統合マネジメントシステムへ

さて生協ひろしまは、2012年3月にISO14001を返上いたしました。この認証は環境に関することに特化した仕組みでもありますので、現在すすめている業務全体を包括する仕組みである「統合マネジメントシステム」とは一部が重複しており、管理にマイナスな面も顕在化していました。今後は、「統合マネジメントシステム」として運用することにより、マネジメントの質をさらに高め、生協組織の持続的発展を支える運営体制を確立し、社会的責任を果たしながら組合員のみなさんに、生協があって良かったと実感していただけるような事業運営に努めてまいります。

2012年度は、TPP、増税と社会保障問題など組合員の暮らしを取り巻く情勢はますます厳しくなることが予想されます。国際協同組合年の今年、他の協同組合と連携して「協同組合の価値」を皆さまに感じていただけるような取り組みを役職員一丸となって進めてまいります。今後も引き続きどうぞよろしくお願いたします。

2012年8月

## 2011年度の方針

- 01 「食の安全・安心」の取り組みを継続します
- 02 組合員と職員が一緒になって商品について学習し、普及をすすめます
- 03 コープ商品の開発や見直しをおこないます
- 04 各事業が組合員のくらしに一層貢献するよう取り組みます
- 05 経営基盤を強めるために、事業や経営の改革をすすめます
- 06 地産地消や産直の取り組みを通して、農・畜産業の支援をおこないます
- 07 組合員が楽しく参加して学べる組合員活動を推進します
- 08 平和、食、福祉、子育てなどに取り組み、地域づくりに貢献します
- 09 東日本大震災の被災者と被災生協に対して、支援を行ないます。また、防災・減災の取り組みをすすめます

# 「人的・物的」から「心をつなぐ」支援へ



2011年3月19日の仙台市内（第1陣が撮影）

東日本大震災の発生後、「可能な限り、迅速に支援する」ことを決定し、発災直後から募金に取り組みました。そして3月17日から、現地に職員が入り、みやぎ、ふくしま両生協の支援を行いました。2011年度も、方針に「東日本大震災の被災者と被災生協に対して、支援をおこないます。また、防災・減災の取り組みをすすめます」を掲げ、総代会で確認していただき、下記のような支援に取り組みました。



第1陣の出発の様子（2011年3月17日）



第4陣の支援の様子（2011年4月5日）



共済支援。全国の仲間と共に活動



約1600世帯を訪問しました

## 【人的支援】計35名

	支援期間(出発～帰着)	支援先	派遣人数	内容
第1陣	3月17日～3月22日	みやぎ生協	10名	物資の仕分け・運搬、気仙沼市内ヘトトラックの移動、安否確認、お見舞い活動
第2陣	3月23日～3月28日		4名	店舗の営業支援
第3陣	3月26日～3月31日		4名	店舗の営業支援、支部で開催された青空市の支援
第4陣	3月31日～4月5日	コープふくしま	4名	店舗の営業支援
第5陣	4月4日～4月9日		4名	店舗の営業支援
第6陣	4月7日～4月13日		4名	店舗の営業支援
第7陣	4月10日～4月15日		5名	店舗の営業支援
計			35名	

## 【物資支援内訳】

物資	数量	物資	数量
水(2リットルペットボトル)	2,700本	配送用折りたたみボックス	20,000個
軽油	1,916リットル	バナナ	20ケース
インスタントカップ麺	700個	衛生用品	160枚
マスク	5,000枚	おむつ	30ケース
貼るカイロ	720枚	粉ミルク	8缶
燃料用ポリ缶	280個	ガソリン携帯用タンク	5個
消臭スプレー	150本		

## 【共済支援】計8名

共済に加入いただいている組合員の自宅をまわり、異常災害見舞金を給付させていただくための調査を行いました。

	支援期間(出発～帰着)	支援先	派遣人数
第1陣	4月29日～5月05日		2名
第2陣	5月04日～5月10日	みやぎ	2名
第3陣	5月09日～5月15日	生協	2名
第4陣	5月14日～5月20日		2名
計			8名

## 【ボランティア】計10名

生協ひろしまとしての派遣終了後は、広島県社会福祉協議会(社協)がすすめるボランティア募集と日本生協連の要請に応じ、「ボランティア」として、現地入りしました。

種類	期間	支援先	人数	内容
ひろしまボラネット	7月5日～7月7日	宮城県岩沼市	4名	側溝の泥出しなど
日本生協連	7月19日～7月23日	宮城県亶理町	2名	
日本生協連	7月24日～7月28日	宮城県亶理町	2名	
日本生協連	7月29日～8月2日	宮城県亶理町	2名	

被災者支援募金総額  
(2012年3月末現在) **89,746,438円**

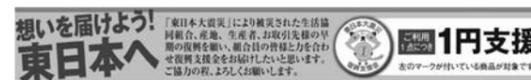
2011年度末までに集まった募金総額は上記の通りです。募金は、OCR注文書を使い、2012年3月4日まで通年で受付、店舗でも3月末まで募金箱で対応しました。

集まった募金は、関連会社やお取引先様からご協力いただいたものを含め、1千210万円を日本赤十字に寄託、その他は日本生協連に送金しました。送金後は義援金配分委員会の決定を参考にして按分。被災都道府県が設ける「義援金口座」に送金されました。

## 【利用1点につき1円支援企画】

想いを届けよう!東日本へ  
総額 **18,699,762円**

中国・四国地区の生協が参加するコープCSネットとともに、被災された地域の生協、生産者、生産地、取引先様への支援活動として、該当商品の利用1点につき1円を支援金にまわす企画に取り組みました。



## 【他団体との取り組み】

【6月4日】

広島県被災者生活サポートボラネット主催の被災者交流会に協力

## 【組合員の取り組み】

組合員が集めた手芸用品を被災地に送付



「既成品をもらうのではなく、自分で編むことで心の癒しになる」という被災者の声を聞いた生協ひろしまの組合員が企画。使わなくなった手芸用品を生協ひろしまの組合員から集め、みやぎ、いわて両生協に送りました。後日、お礼のお手紙をいただきました。

◀2011年11月に第1便を送りました

## 【3月11日の店舗の取り組み】

当日の募金総額 **1,691,586円**



発災から1年後の2012年3月11日、コープのお店では、14時46分に黙とうをすると同時に、募金を呼びかけました。また、当日の供給高の1%を拠出しました。

◀組合員さん26名、役職員284名が全店で呼びかけました

【2011年4月23日・9月11日】

【2012年3月10日】

東日本エイド～復興支援コンサート～実行委員として参加



第1陣隊長  
常務理事 高田 公喜

● 2011年6月に発行した支援報告書より抜粋

隊員の疲れはピークでしたが、弱音を吐く者は一人もいませんでした

私たちは、広島から2日間かけてみやぎ生協に到着。被災地に来ると「何とか役に立ちたい」という気持ちになり、隊員の疲れはピークでしたが、多少の無理は進んで「自分からやります」と言ってくれました。お見舞い活動でトラックに同乗しました。二日前に立ち入り禁止が解除された場所でした。物資を届けた時には大変喜んでいただきました。復興への道りは長く険しく、まだまだ継続した支援活動が必要な状態です。引き続き、最大限の支援を組織で取り組みます。

# 地域と共に

一人ひとりに寄り添いながら事業と活動を行ってきた生協ひろしま。地域コミュニティの活性化、人と人とのつながりを深めることが、理念の実現につながることを考えています。

## ♡ 暮らしの助けあい 総活動時間は7066.5時間

1988年から活動を続ける「暮らしの助けあい」。身近な地域で、組合員同士の「助け合いたい」という気持ちを大切に、病気やけが・産前産後の家事（炊事、洗濯、掃除）などを助け合う活動です。その仕組みは右下の図の通り、生協ひろしまの職員も23名が活動会員として登録しています。

### 「ちょっとしたお手伝いがお役に立てて嬉しい!!」

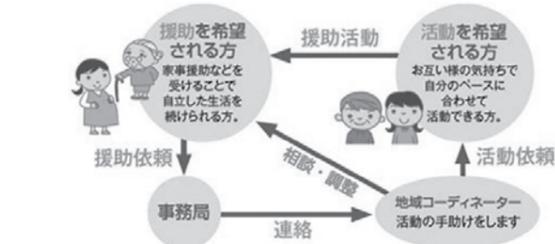


大野支所  
班担当 藤岡悠太

職場の先輩に誘われて助けあいに登録しました。初めての活動依頼は家具の移動でした。依頼者は腰を痛めて重たいものが運べず困っておられたので大変喜んでくださいました。ちょっとしたお手伝い、お役に立てても嬉しかったです

### 2011年度より仕組みを変更しました

以前は年会費1,000円の会費制でしたが、誰もが参加しやすい活動にしようと、会費を廃止し活動支援協力金を創設。いつでも協力をしていただけると同時に、広くみんなで支えあう活動となりました。活動支援金への協力は、OCR注文用紙（通年で企画）、店舗サービスカウンター、郵便振り込みで承っています。



**活動状況**  
活動支援協力金: 1,850,080円  
総活動時間: 7066.5時間  
登録者数 援助希望者: 382名  
活動登録者: 460名 (内職員23名含む)

### 農業生産法人(株)ハートランドひろしま

#### 生き生き笑顔でつながる、人と地域と農業



生協ひろしまの子会社である農業生産法人(株)ハートランドひろしま。地域の活性化も、設立目的のひとつです。農地は地域の皆様のご理解を得てお借りしています。また、設立や運営に当たっては、地元の農業生産法人に研修を受け入れていただいたり、地元のJAさんにアドバイスをいただいたりして、地域の行事にも温かく迎えていただいています。

### 行政との様々な協定締結

2010年に結んだ広島県との「がん検診推進に関する協定」と広島市佐伯区と結んだ「地域連携協力に関する協定」に続き、以下の協定を締結しました。



- 【広島市】生協ひろしまとの災害時における食料・生活必需品の緊急調達及び供給に関する協定  
締結日: 2011年3月16日
- 【尾道市】災害時における支援協力に関する協定  
締結日: 2011年10月27日
- 【呉市】災害時における応急生活物資の供給に関する協定  
締結日: 2011年3月26日

※2012年6月には三次市とも締結しました

### 地域支え合い体制づくり事業

2011年度の方針でもある「誰もが安心してらせることを目指す」ためには地域住民との連携が欠かせません。その思いは行政が目指す「支援が必要になっても、地域で自立した生活ができるようにする」という目標とも一致、広島県からの受託事業として下記の事業に取り組みました。

- I. 買物支援事業
- II. 配食支援事業
- III. 地域ふれあいセンター事業
- IV. 地域ふれあいセンター普及啓発事業
- V. 場のあり方に関する調査事業

### 夕食宅配事業

#### おもいやりコープ弁当便

配食数: 1,818食/日 (2012年3月末現在)



夕食のお弁当を、食事づくりが困難な方にお届けするサービスは、2009年8月に呉エリアから始めました。その後、順調にエリアを拡大し、2011年は5月に三次地区、7月に三原・尾道地区をカバーする営業所を開設。2011年3月末現在で登録者は5,885名、1日当りの平均食数は1,818食となりました。



利用者の声より

一人ですべてをしなければならぬ80代の老婆です。料理、たべごとをするのがだんだん面倒になってコープ弁当をお願いしてみました。1日目にしてこれはおいしいと直感。バランスもよく残さず頂きました。次の日が待ち遠しい位です。私の場合出来れば昼食に食べたいと思っています。

### 移動店舗

#### オープンの準備を地域とともにすすめました



超高齢社会がすすむ中、地域のお店がどんどんなくなっていくことにより、「買物難民」、「フードデザート」などの問題が、表面化してきました。そこで、生協ひろしまでも、移動店舗開設の準備を開始、地域包括提携協定を結んでいた広島市佐伯区内から活動を開始することを決め、準備をすすめました。

店舗の説明会、トラックの置き場所の決定、品揃えなどは佐伯区とともに地域の町内会とも連絡を密にとりながら、協力をいただきました。「生協」・「行政」・「地域」が連携を深めたと取り組みとなりました。※移動店舗は2012年4月16日に、佐伯区の団地を中心としたエリアで営業を開始しました

### フリーな居場所作り

#### よってこーや 寄ってこ〜家を2カ所にオープン



頻発する孤独死など、誰ともつながることができない「ひとりぼっち」が問題化しています。そこで地域の「つながり」のために大切な「居場所」を福山市内に作る準備をしました。準備に当たっては福山市社会福祉協議会や地域包括センターと相談をしながら、地域との関わりを強めることができました。

### 居場所について考えた2日間

#### 「わい★がや2DAYS」

3月1日・2日に開催された地域福祉について考えるイベント研修で色々な「居場所」を知ることができました。

# 地産地消・産直

生協ひろしまでは、「食の安心」を守り、「地域の活性化」に貢献するために、JAさんとも協力して「地産地消」や「産直」に取り組んでいます。



生協ひろしまがすすめる「産直」は、産地直送ではなく、産地直結。産地と直接結びつき、ともに質の高い商品を作りだすことです。

## 生協ひろしま産直5原則

1. 産地、生産者が明確であること
2. 生産方法がハッキリしていること
3. 生産者と組合員が交流できる環境づくりを進めていること
4. 事業として成り立ち継続できること
5. 生産者と組合員が対等、平等なこと

## お互いに確認

### 全量引取り制度

生協ひろしまと生産者さんが話し合い、お互いに確認された方法で農産物を育てていただき、収穫されたものについては、原則として全量を引き取らせていただくという取り組みをすすめています。2011年度は下記の生産者にご協力をいただきました。

農産物	生産者	農産物	生産者
千浜人参	JA庄原・JA広島中央・JA広島北部・JA尾道市	レタス	JA広島北部
里芋	JA尾道市	とまと	大崎上島
さつまいも	JA広島中央	ほうれん草	ハートランド広島
たけのこ	(株)久世食品	千浜人参	ハートランド広島
レタス	吉和町	里芋	ハートランド広島
南瓜	JA庄原	春菊	ハートランド広島
トマト	向島	水菜	ハートランド広島

## 広島県農業者支援制度

### 県内の農業生産者を応援

生協ひろしまでは、広島県の農業の活性化に少しでもお役に立とうと、「広島県農業者支援制度」を設け、支援金を贈呈しています。情報開示できる栽培・飼育履歴があるなどの条件を満たした生産者さんに応募いただき、支援金として10万円を贈呈。2011年度は以下の方に決定しました。

- 生協ひろしま賞 : 雨土征子さん
- 中国新聞社賞 : 佐野富貴子さん
- JAグループ広島賞 : JA尾道市環境農業研究会

## 自ら生産

### 農業生産法人が本格稼働



2010年7月に生協ひろしまの子会社として設立された農業生産法人(株)ハートランドひろしま。2011年度から、いよいよ本格的に収穫が始まりました。養液栽培の栽培面積26アールは県内最大級、生協ひろしま自身が作った農産物を生協ひろしまの組合員に供給する体制が整いつつあります。

## 交流会で顔の見える関係に

地産地消、産地直結。生産者さんと顔をあわせ、交流できる関係になることが、取り組みの第1歩です。生協ひろしまでは、産地交流会を積極的に開催、生産者の思いに少しでも近づくために様々な取り組みを行なっています。



8月22日。南国元気鶏のマルイ食品(鹿児島県出水市)



8月1日。とうもろこしもちぎり交流会(西城町)



8月22日。魚商品のシーサット(山口県下関市)



9月10日。産直たまご交流会(世羅郡世羅町)



9月25日。稲刈り交流会(島根県邑南町)



10月8日。甲奴牛乳交流会(三次市甲奴町)



10月2日。稲刈り交流会(安芸高田市)



10月31日。芋ほり交流会(北広島町)



10月24日。里芋収穫体験交流会(三原市大和町)



10月27日。千浜人参産地見学(庄原市高野町)

## もずくのふるさと沖縄県恩納村で交流

もずく基金贈呈 **652,905円**

※贈呈式が2012年4月10日に行なわれました

もずくを育てる沖縄の海とさんごを守るために設けられたもずく基金。対象商品を購入いただくと4パック商品では2円、2パック商品で1円を積み立て、さんご再生に役立てられています。2011年度に積み立てられた金額は上記の通りでした。

## 親子で交流会も開催されました



# 子育て

核家族化が進む中、一人で悩むママやパパが増えています。  
生協ひろしまでは暮らしに密着した取り組みとして「子育て」にも力をいれています。



## ちびっこひろばを7カ所で開催



子育ての悩みや喜びを、一緒に感じ、少しでも楽しい子育てのお手伝いをしようと、コープのお店の集会室で、ちびっこひろばを月1回開催しています。これは、未就学児をもつお母さんに好きな時間に来ていただき、同じスペースで子どもを遊ばせながら、お母さん同士も情報交換をしていただくというものです。運営は、組合員のボランティア(ちびっこ広場サポーター)を中心にすすめられています。

2011年度は74回開催。1,240名の親子が来場されました。

店舗名	定期開催曜日	時間
コープ五日市北	第2火曜日	10:00~12:00
	第4火曜日	10:00~12:00
コープ矢野東	第2火曜日	10:30~12:00
コープ東広島	第2火曜日	10:00~12:00
コープ安東	第4木曜日	10:00~12:00
コープ高陽	第2木曜日	10:30~12:00
コープ焼山	第3火曜日	10:00~12:00
コープ温品	第3木曜日	10:00~12:00

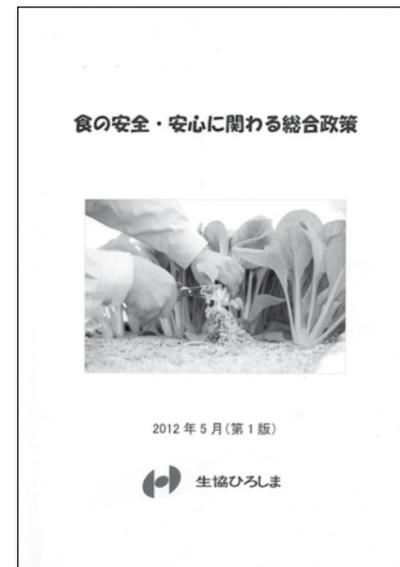
※コープ温品は、6月からスタートしました



・私も子どもも、ここの雰囲気が大好きです。時々、季節の行事を織り交ぜた遊びもあったりして親子で楽しんでいます。先輩ママのアドバイスはためになり、ほっとします。

# 食の安全・安心

「食の安全・安心に関わる総合政策」策定のための準備をすすめました



## 食の安全・安心に関わる総合政策に関わる論議をすすめました

科学技術の発展や食生活を取り巻く環境の変化に対応するために、組合員も交えた論議と学習をすすめ、生協ひろしまとしての政策を4つの視点でまとめました。

- I 暮らし全般にわたる食の安全・安心
- II リスク分析の導入
- III 氾濫する情報の中で、「正しい情報」の提供
- IV 食をめぐる状況変化への対応

# 食育

食育にも、継続して取り組んでいます。  
5年目となった「たべる\*たいせつキッズクラブ」も定着した取り組みとなりました。



「たべる\*たいせつキッズクラブ」は、子どもたちに食べることの大切さや楽しさを伝え、「食の主人公」になることを応援する通信教育型食育サポートプログラムです。2011年度は65名の子どもたちが登録しました。

### オフ企画

## 真夜中の学習会。 市場で魚について知ろう

「たべる\*たいせつキッズクラブ」のメンバー30組約60名が3月17日(土)、市場の様子を学ぶため、広島市中央卸売市場(広島市西区)を訪れました。午前2時という開始時刻にも関わらず、エイの解体やせりの様子など初めて目にする市場の世界に大興奮の様子でしたが、あわせて「命をいただく」ことを実感することができました。



活魚、近海物のせりを見学。威勢の良い掛け声に子どもたちはビックリ



自由見学の途中、白魚を見せていただきました



子どもも大人も、こんなに大きなヒラメを見るのは初めて!



午前5時30分。真っ暗なかの食事会



## 広報誌で、食に関する情報発信

広報誌に食と農に関するコーナー「たねまき」を設け、継続して「食の安全」に関わる情報を届けました

### 4月号

消費者は世界とつながっている  
TPPを知れば社会が見える

### 6月号

米を作って、地域を守る  
米農家の現状と私たちの食卓

### 8月号

大災害と、私たちの「食」  
発生直後の混乱から、長期的影響まで

### 10月号

野菜を育てる「汗」「愛情」  
組合員さん親子が、農作業を一日体験

### 12月号

郷土料理は、家族の心の中に  
食卓に、家族の幸せを願う気持ちを乗せて

### 2月号

連携で守る、豊かな自然  
川は、森の栄養を海に運ぶ「命の道」

### 4月号

エネルギーの地産地消へ  
東日本大震災から1年、電気の未来を考える

## 商品検査

生協ひろしまでは、コープCSネットに検査を依頼、コープCSネット開発商品、生協ひろしまで開発したコープフェイス商品、店舗で取り扱う一般メーカー商品などの検査を行なっています。

### 商品検査の件数の報告

微生物検査	3,942項目	主に衛生状態の検査
理化学検査	2,087検体の のべ46,000項目	残留農薬、添加物などの検査
クレーム対応	2,877件	組合員からの問い合わせ
製造施設点検	72カ所	メーカーでの原料製造管理・製造環境の点検
残留農薬検査	のべ79品目	海外産の農産・水産商品、惣菜用の加工商品や国内産の産直野菜を対象に約220の農薬検査

# 平和

よりよい暮らしのための基本は「平和」です。  
生協ひろしまは、平和な社会づくりに貢献するため、様々な取り組みをすすめています。



※写真の署名数は広島県生協連全体の数です

## 平和市長会議の呼びかけに賛同

平和市長会議が呼びかけている、都市を攻撃目標にするな（CANT）プロジェクトの中で取り組んでいる『核兵器禁止条約』の早期実現を求める署名に協力し、役職員、組合員が一緒になって、署名と平和募金への協力を呼びかけました。

署名数 **135,163** 筆 募金4,521,666円



ピースフォーラム (5月26日/約110名)



部署長学習会。各部署の責任者が参加 (6月15日/55名) はじめての取り組み、「親子連続平和講座」(11名)



## 市民平和行進 草の根の活動も積極的に行なわれました



東広島市内 (7月23日/120名)



呉市内 (7月30日/130名)



三次市内 (7月31日/140名)



廿日市内 (8月2日/80名)



広島市内 (8月4日/190名)



平和記念公園で集結式 (8月4日/200名)

## ピースナイターで世界に発信

2011年8月5日、戦後の復興の象徴であるカーブとともに、平和をアピールする「ピースナイター」を行いました。5回終了後に、平和を表す緑色のポスターをかがげ、スタンドを緑色に染めました。同時に、原爆ドームと同じ高さの25メートルの高さの観客席では赤いポスターを掲げ、赤いライン(ピースライン)を作り、3万1千名の観客全員で平和をアピールしました。



## ピースアクション in ヒロシマ

### 全国から集まった平和への想い



日本生協連と広島県生協連が呼びかける平和イベント「ピースアクションinヒロシマ」には、全国の生協の組合員さん約1000名が集まりました。会場では、松井広島市長からも激励の言葉をいただきました。

### 広島市立大学とコラボ



2011年は、広島市立大学とのコラボが実現。「オリヅルプロジェクト」に取り組みました。組合員から集めた笑顔の写真をたまご型のオブジェの中で映像として流し、平和や笑顔の大切さを考える内容になりました。この取り組みは、NHKでも放映されました。



松井広島市長にあいさつしていただきました



東日本大震災被災地生協にメッセージを書く参加者



岩手県の生協のブースから力強いメッセージ



市民平和行進の前に海軍墓地の碑めぐり (7月30日/呉)



ついでで平和の歌を歌う生協ひろしま虹のコーラスの皆さん (7月31日/三次)



被爆者の証言を子どもたちが聞きました (8月2日/廿日市)

# 事業

理念の実現を目指して、商品やサービスを提供しています。

## 無店舗事業

供給高 329億2439万円



週に1度、商品カタログを配布し、組合員から注文いただいた商品を、毎週決まった曜日・時間にお届けしています。配送担当者は、地域の組合員の要望や願いを直接お聞きする役割を担い、組合員とのコミュニケーション

を深める仕事にも力をいれています。また、組合員に気持ちよく買い物をしていただくよう、「安全運転」・「配送品質」の教育システムに基づき、研修や訓練を受けています。配送センターを県内17カ所に配置、ほぼ県内全域をカバーしています。

## 店舗事業

供給高 93億4451万円



広島市内に7店舗、呉市内に2店舗、福山市内、東広島市内にそれぞれ1店舗ずつ、全部で11店舗あります。生協ならではの安全・安心の商品はもちろん、地元野菜や瀬戸内の魚などの新鮮な地産地消商品も多数取り

揃えています。また、ちびっこひろば(8ページ参照)、生協まつりなどに店舗のスペースを開放し、地域に密着した活動にも積極的に関わることができる体制をとっています。

## 夕食宅配事業

配食数 1,818食



一人暮らしで食事づくりが難しいお年寄りや、お仕事でお忙しい方のためのお弁当宅配、「おもいやりコープ弁当便」のサービスを行なっています。

メニューは、カロリーや塩分を控えめにした健康に配慮した内容です。また、お届けの基本は手渡しですので、利用者のご様子も確認することができます。2011年度は新たに三次市(5月)、三原市、尾道市(7月)に配送センターを設置、現在は県内12カ所になりました。

## 共済事業

CO-OP共済 加入者数 20,372名



「自分の掛金が誰かの役に立つ」という組合員どうしの助け合い、それがコープ共済です。ですから、加入者へ、給付申請のもらえないかどうかの確認を定期的に行うなど、組合員へのお役立ちを第一に考えた取り組みをしています。

また、「LPAの会」、「共済プランナー」、「共済アドバイザー」など、組合員と一緒に「お金と暮らしと保障」についての学習を深めながら、組合員にオススメをしています。もしもの時のお役立ちこそが目的です。

## 装い事業

供給高 1億2755万円



ジュエリーや、喪服、振袖、バッグなど、冠婚葬祭に揃えておきたい一品を、適正な価格でご案内しています。商品の説明などは生協ひろしまの「装い専門」の職員がお持ちした上で、じっくりご覧いただくことができます。

また展示会も開催、2011年度は、10月8日・9日に開催しました。

## 福祉事業

総収入 10億8508万円



利用者の心に寄り添った福祉を目指して、様々な事業に取り組み、2011年度は以下の事業を行ないました。ホームヘルパーの派遣等を行う「訪問介護」/ケアプランの作成等を行う「居宅介護支援」/日帰りで利用する

「デイサービス」/泊まりと訪問を組み合わせて利用いただく「小規模多機能型居宅介護」/福祉用具のレンタルと販売/障がい者の方への自立支援サービス/介護保険外の各種サービス/コープハウジングと連携したバリアフリーなどへの住宅改修と介護保険利用のアドバイス。

## 子会社

### コープハウジングひろしま(株)

売上高 8億6470万円



基本理念は、「私たちは顧客が求める理想の暮らしを実現する住まいを提供し、社会に貢献できる組織を目指します」。生協ひろしまとともに、「組合員のお役立ち」が事業の基本です。

一貫した責任施工体制のコープハウジングは特定建設業と一級建築士事務所の登録をし、プラン提案から工事の引き渡しまで一貫した責任施工体制を取っています。受注後の対応も責任を持ってコープハウジングが行いお客様の立場に立った対応を心がけています。

### (株)ハートコープひろしま

売上高 1463万円



生協ひろしまで取り扱う農産品などの仕分けや検品、チェックを主な業務としています。知的障がいをお持ちの方に働く場を提供することも目的のひとつとしていましたので、特例子会社として認可を受けています。現在は、

知的障がいの方6名の仲間が働いています。組合員の商品に対する厳しい目を理解しながら、緊張感を持ちながら、本当に真剣な仕事ぶりです。(14ページ参照)

### 農業生産法人ハートランドひろしま

売上高 1517万円



指定障がい福祉サービス事業所(就労支援A型)。2008年に発生した中国製冷凍餃子への農薬混入事件をきっかけに、安全・安心について改めて考える中で設立されたのがハートランドひろしまです。また、障がいがある

人の社会参加を進め、地域に活気をもたらし、農業活性化の一助となりたいという思いも込められています。2011年4月には10名の知的障がいをお持ちの方が利用者として入社。7月からは、事業の柱として予定しているフィールド養液栽培がスタートしました。

### コープサービス(株)

売上高 5億4234万円

食品や雑貨品以外の暮らしに関わるサービスの企画と提案を行なっています。

## 文化サービス



共同購入・個人別配送で配布されるチラシ「ハートウォッシュ」に掲載される商品やサービスを企画しています。映画やコンサートのチケット、ピアノ調律、ふとんの丸洗いや打ち直し、引越しの取次、エアコンクリーニングの紹介など、多岐に渡っています。また、旅行代理店として、組合員の旅のお手伝いをしています。「ただ取り次ぐだけ」ではなく、コープサービスが責任を持って最後まで対応いたします。組合員との窓口は文化サービスです。

## 保険事業



業務内容は生命保険・損害保険の募集に関する業務・保障相談・保障提案など。がん保険、自動車保険、損害保険など、保険商品を各種取り扱っています。また、ご要望があれば、保険に関するご相談やご説明に、コープサービスの社員が自宅へお伺いがいしてプランを立てることも可能です。また、2011年11月からは保険やお金に関するメルマガ「はびレタ」を開始しました。

## 葬祭事業



生協の葬祭サービス「ひとえ」は、わかりやすい料金体系を基本にしたご案内で、万が一の時にも「生協だから安心」と言ってもらえるように努力を重ねています。また、普段から提携葬儀社と協力してホール見学会を実施し「その時」になってあわてることのないように葬祭学習会も行なっています。もちろん葬儀の際には生協の職員がお客様との窓口になって、「説明とご納得」をモットーに葬儀の施行を行っています。

# 障がい者と共に

地域と社会に貢献する取り組みとして、障害者雇用も積極的にすすめています。雇用の受け皿として特例子会社と農業生産法人を設立。3月末現在、両社あわせて16名の仲間と一緒に汗を流しています。



(株)ハートコープひろしま



(株)ハートランドひろしま

障害者雇用率 **2.35%** (2011年3月末現在)

## 着実に伸びています

売上高1463万円

(株)ハートコープひろしまの主な業務は組合員に届ける農産品の品質検査やパッケージなど。たまねぎやじゃがいも、グレープフルーツなどを一つひとつ、キズやかびがないか目で見て確認しています。当初仕事は、生協ひろしまからの依頼のみでしたが、社員たちの丁寧な仕事ぶりが評価され、生協ひろしまのお取引先様からも検品や包装の委託を受けるようになりました。



一つひとつ丁寧にチェックされます



クレームゼロを目指す目です



社員みんなで協力します



商品センターのダンボールリサイクルも受託

### 会社概要

特例子会社  
株式会社ハートコープひろしま  
所在地 〒731-1142  
広島県広島市安佐北区安佐町飯室6863-2(広島商品センター内)  
代表取締役 横山 弘成  
設立日 2007年10月1日  
資本金 1,000万円  
業務内容 食品及び日用雑貨の検収・検品・仕分け・包装・加工業務

## フィールド養液栽培

26アールで出荷開始

2008年に発生した中国冷凍餃子への農薬混入事件をきっかけに、安全・安心について今一度考える必要があるという思いをきっかけに設立した農業生産法人(株)ハートランドひろしま。指定障がい福祉サービス事業所(就労継続支援A型)として、知的障がいをお持ちの方が利用者として、働いています。ハウス栽培から露地栽培まで、法人の運営になくはならない戦力として、草取り、収穫、袋詰めなどを行なっています。



商品を傷めないように丁寧に収穫



仲間同士の助けあいが大切です



出荷作業も大切な仕事です



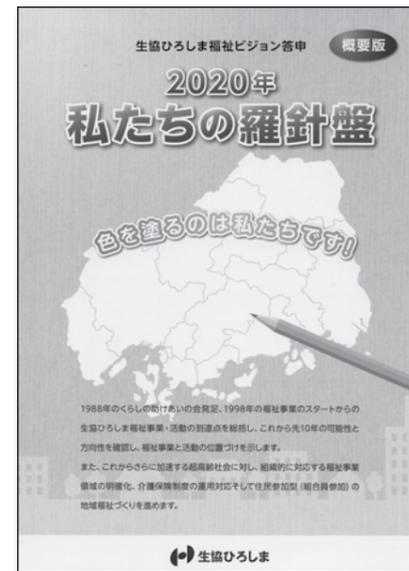
冬は、たいへんな雪が積ります

### 会社概要

農業生産法人  
株式会社ハートランドひろしま  
指定障がい福祉サービス事業所(就労継続支援A型)  
所在地 〒731-1501 広島県山県郡北広島町川戸3413-2  
代表取締役 横山 弘成  
設立日 2010年7月12日  
資本金 1,000万円  
業務内容 野菜の栽培及び販売

# 福祉ビジョン答申

超高齢、少子化時代を迎え、10年後の生協ひろしまの「福祉事業」のビジョンが発表されました。



## 2020生協ひろしま福祉ビジョン

「だれもが安心して住み続けられる  
“地域づくり”をすすめます」

### 実現のために

- ①くらしの変化に対応した事業と活動を生協全体の力ですすめます
- ②助けあいの精神を助け、さまざまな“協同”を実現していきます

### 2020生協福祉の指針

- ①地域ごとの実態把握と計画に基いたシームレスな事業と活動を展開します
- ②行政や地域諸団体等とのネットワークに基づく安心して暮らせる“地域づくり”をすすめます
- ③すべての人に“福祉的視点”で生協ひろしまの事業をすすめます
- ④少子高齢化に対応した新規事業部を勤めます
- ⑤より多くの人に役立つ生協の福祉事業を進めます
- ⑥福祉に関わる人材の確保と教育をすすめます
- ⑦福祉事業経営の安定化をすすめます

# 声が響く組織に

生協ひろしまは、組合員の声に応えることで、強い信頼関係で結ばれることを目指しています。

## 組合員の声改善委員会



組合員の声に応えることが、生協の仕事です。しかし、組合員数も38万名を超え、様々な意見をいただく中、職員個人のレベルでは、すぐに対応が難しい場合もあります。そこで、「組合員の声改善委員会」を設け、組合員の意見を受け止める仕組みを作りました。委員会のメンバーは、各部署の部署長が名を連ね、素早い判断ができる体制を整えました。

### 【改善例抜粋】

- 新規組合員の口座引き落としの銀行側のタイミングが不明のために起こるクレームを減少させるために、お届け表の表記を改善
- 「ふぁみーゆの配布を申し込んだのに届かない」という声に対して、ふぁみーゆの配布タイミングの説明の徹底を指示
- よく声があがるが、仕組みの改善がすぐに難しいものに関しては、ホームページで現状を報告

# 環境

事業を行なうことによる環境負荷の削減にもルールを決めて、積極的に取り組んでいます



## 電気使用量を3.7%削減

生協ひろしまが事業を行うために使用しているエネルギーは圧倒的に電気が多くなっています。そこで2011年度は、電気使用量の削減に主眼を置きました。空調、照明、冷設、事務用機器、業務用機器ごとに省エネ運用マニュアルを各事業所で作成、ルールを職員全員に教育し、省エネに取り組みました。

また、電気の見える化のため「エコアラーム」を32事業所取り付け、電気使用状況を把握し、ムダを見つけ、運用改善に繋がりました。その結果、電気使用量は前年対比3.7%の削減ができました。

### 事業活動によるエネルギー・資源の投入

項目	使用量	単位	前年対比
電気	22,429	千kWh	96.3%
都市ガス	25,219	m3	120.5%
LPガス	28,389	m3	77.4%
水道	80,578	m3	99.8%
灯油	1,836	ℓ	29.6%
車両(軽油)	702,976	ℓ	97.0%
車両(LPG)	78,680	ℓ	93.6%
車両(ガソリン)	209,752	ℓ	117.4%
注文書等商品案内	6,065	t	99.8%
シッパー内袋	122	t	102.6%
レジ袋	5	t	86.7%
トレイ	10	t	94.5%
ラップ(インスタアー)	17	t	104.4%
ドライアイス	2,538	t	104.5%

※【灯油】商品センターでのシッパー洗浄の稼働日数を大幅に減らしたため使用量が前年対比29.6%と大きく減少しました

### 排出物の発生量

項目	発生量	単位	前年対比
CO <sub>2</sub>	11,833	t-CO <sub>2</sub>	102.9%
プラスチック類	58.1	t	109.6%
可燃ごみ	81.8	t	90.6%
生ごみ	146.7	t	87.6%

### 排出物のリサイクル量

項目	リサイクル量	単位	前年対比
ダンボール	964.1	t	88.3%
発泡スチロール	24.3	t	75.0%
シッパー内袋	49.2	t	156.2%
注文用紙+事務系・機密書類	103.1	t	91.8%
野菜くず	150.6	t	99.0%
廃食油	14.3	t	89.9%
魚あら	82.6	t	104.3%
ビン・缶	7.8	t	104.0%

## ECOアラームの導入

日にちごと、時間ごとの電気使用量をパソコン上でグラフとして見る事ができる仕組みです。高圧、低圧を含め32事業所への省エネツールとして活用、「見える化」により、普段はなかなか考えない「節電」に対する意識向上に役立っています。



# リサイクル

組合員に呼びかけ、商品配送時や店舗の店頭で、飲用パック等の自主回収を行い、資源を有効利用、回収量は年々増加しています。

項目	回収形態	回収実績量(t)					再生品
		2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	
飲用パック	支所・店舗	130.9	123.5	121.8	114.6	108.0	コアップンロール
たまごパック	支所・店舗	44.0	40.8	48.9	50.5	50.4	たまごパック
発泡トレイ	支所・店舗	23.7	23.0	22.7	22.2	22.0	トレイ
透明トレイ	店舗	-	0.5	3.5	4.3	4.1	トレイ
シッパー内袋	支所	57.2	54.9	52.2	59.2	55.4	再生フィルム、文房具
チラシ類	支所	3,735	4,039	4,111	4,233	4,296	チラシ
ペットボトル	店舗	19.1	21.3	22.6	27.6	30.3	プラスチック原料
合計		4,009.8	4,303.0	4,382.7	4,511.4	4566.2	

# 環境会計

環境会計は、環境保全の活動を効果的・効率的に推進するため、環境負荷や環境保全の費用と効果を把握するための手法です。

### 環境保全コスト

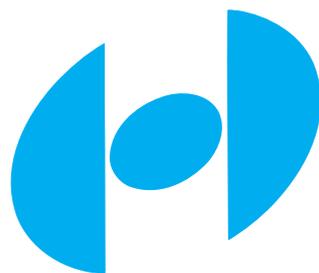
シッパー内袋の使用量が増えたため、再商品化委託料は14.2%増加しました。また、全店舗でレジ袋を有料化したので、買い物袋持参者へのポイント還元が0円になりました。

主な取組み内容	09年度	10年度	11年度	前年対比
浄化槽の点検、グリストラップ清掃	3,337	2,827	2,859	101.1%
ダンボール圧縮機、発泡減容器リース料等	2,672	3,219	3,200	99.4%
飲用パック等の自主回収	1,308	1,387	1,425	102.7%
事務系紙類、機密書類等のリサイクル	2,743	3,240	2,746	84.8%
生ごみ、廃食油、魚残渣のリサイクル	6,611	5,791	5,763	99.5%
一般・産業廃棄物の処理・処分	31,956	28,368	29,186	102.9%
買物袋持参者へのポイント還元	6,814	702	0	-
再商品化委託料	8,610	5,915	6,754	114.2%
合計	64,051	51,449	51,933	100.9%

### 経済効果

リサイクル売却単価の変動が少なく、0.2%増加とほぼ前年と同様の数値実績でした。収益は5,533千円でした。

効果内容	09年度	10年度	11年度	前年対比
ダンボール、ペットボトル、発泡スチロール等のリサイクル	16,122	15,271	14,984	98.1%
商品カタログ、飲用パックのリサイクル	9,443	21,885	22,204	101.5%
レジ袋使用削減分	8,884	11,008	10,972	99.7%
再商品化委託料削減分	8,023	9,176	9,306	101.4%
合計	42,472	57,340	57,466	100.2%



生協ひろしま

## CSR Report 2012

発行：2012年8月  
発行者：生活協同組合ひろしま  
〒739-0495 広島県廿日市市大野原一丁目2-10  
問い合わせ先：総合企画室 内部統制・内部監査  
TEL 0829-50-0351 FAX 0829-50-0352  
URL <http://www.hiroshima.coop>  
E-mail [hcoop@mail.hiroshima.coop](mailto:hcoop@mail.hiroshima.coop)